

第2回 府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）

- 開催日時 令和4年12月20日（火）午前10時～午前11時30分
- 開催場所 府中市役所北庁舎3階第3会議室
- 出席委員 7名（50音順）
伊浪委員、榎本委員、金子委員、高橋委員、中島副会長、藤江会長、山口委員
- 欠席委員 1名
小島委員
- 出席説明員等
佐々木政策経営部行政改革担当参事兼行政経営課長、大木行政経営課長補佐、橋本行政経営課主査
- 傍聴者 なし
- 議事日程
 - 1 開会
 - 2 確認事項
第1回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）について
 - 3 審議事項
府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に設定された事務事業の指標について
 - 4 その他

■ 会議録（要旨）

○ 藤江会長 ただいまから、第 2 回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会をはじめます。事務局から本日の委員の出席状況を報告してください。

○ 事務局 出席状況を報告します。
（出席状況及び会議有効成立の報告）

○ 藤江会長 本日が初めての出席となる委員について、事務局から紹介してください。

○ 事務局 委員をご紹介します。
（役職名等と名前の紹介）

○ 藤江会長 次に、事務局から本日の傍聴希望の状況を報告してください。

○ 事務局 本日は、1 名の方から事前に傍聴希望がありましたが、まだ到着されていません。

○ 藤江会長 到着次第、傍聴席へ案内することによろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○ 藤江会長 次に、事務局から本日の配布資料を説明してください。

○ 事務局 資料は、本日机上に配布している 4 点となります。
（配布資料の確認）

確認事項

第 1 回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）について

○ 藤江会長 前回の第 1 回協議会の会議録が資料 2 - 1 として事前に送付されましたが、指定された期日までに修正等の連絡はなかったと事務局から報告を受けています。最終確認になりますが、修正等について意見はありますか。

（挙手及び発言なし）

○藤江会長 それでは、第1回協議会会議録の内容を確定したいと思いますので、事務局は速やかに公開の手続きを行ってください。

審議事項

府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に設定された事務事業の指標について

○藤江会長 まず、事務局から資料の説明をしてください。

○事務局 配布資料2-2、参考資料及び第7次府中市総合計画の冊子を用いて説明します。

（重点プロジェクトに設定された事務事業の指標などについて説明）

○藤江会長 事務局から資料に基づく説明がありました。

この資料2-2に記載されている事務事業の主要なアウトプット指標は、来年度以降に私達が審議していく重点プロジェクトの評価においてポイントになる部分ですが、本日初めて委員の皆さんにご覧いただくものになりますので、ここで少し、個人で各担当分野の内容を確認いただく時間を設けたいと思います。

設定している数値に関する部分など、細かい点については、締切日を設けて意見や質問を別途頂戴したいと思いますので、本日この場では、自身が担当するプロジェクトについて、どのような事務事業が設定されているか、設定されているアウトプット指標の内容がイメージできるかの視点で、資料を確認いただきたいと思います。

それでは、資料2-2に記載されている自身が担当する分野の項目について、確認をお願いします。

（個別に資料の確認）

○藤江会長 まず、資料2-2の見方や確認に当たっての意見や質問はありますか。

○中島副会長 アウトプット指標の項目で基準値が「-」になっているものと「0」となっているものについて、違いを教えてほしい。

○事務局 資料3ページのトップチーム等連携事業の「-」については、担当課で精査中ですので、数値が確定し次第お示しします。一方、「0」と記載している項目については、実績がないものとなります。

○**山口委員** 地域子育て支援（子育てひろば等）事業の子育てひろばは、講座かそれともイベントなのかこれが何を意味しているかが分からないと、日数の妥当性やどう評価していくのかが分からないので確認したい。

○**事務局** ひろばについては、子ども家庭支援センターの「たっち」「しらとり」、地域子育て支援センター「はぐ」といった拠点で実施している講座やイベント等の啓発活動などをひろば事業と呼んでいます。詳しい内容については、担当課に確認します。

○**伊浪委員** 地域子育て支援（子育てひろば等）事業のアウトプット指標の計画値について、減ったり増えたりする理由が分からない。私自身が子育て支援に関わっているが、例えば、市から委託されて「はぐ」でひろばを運営しているNPO法人が出張で事業を行う場合もあるし、今後事業の位置付け、形態が変わるような話も出ているので、そういった状況も数値に反映されているのか知りたい。

○**藤江会長** 今、2名の委員から発言があった事業内容の詳細や数値の推移の変化の理由について、事務局で確認してください。

○**高橋委員** 資料3ページのけやき並木周辺整備事業と総合体育館移転関連事業について、「数値で事業計画を表すことが困難であるため、アウトプット項目の設定は行わない」と記載があるが、アウトプット指標を設定せずに評価を行うことは難しいと思う。設定しない場合にどのようにして評価を行うつもりなのか、想定しているものがあれば教えてもらいたい。

○**事務局** 事務局から担当課に対し、基本的にアウトプット指標を設定しないと評価が行いにくいことは説明していますが、担当課はアウトプット指標としての数値を設定すること自体が難しいと判断し、本日の資料にはその旨を記載しているところです。

しかしながら、高橋委員のご発言のとおり、指標を設定しないと評価するためのモノサシがない状態とも言えますので、頂戴したご意見をもとに担当課と調整を行いますが、もし委員におかれまして設定すべきと思われるようなアウトプット指標についてご意見がありましたら、お示しいただければと思います。

○**高橋委員** 事業計画の進捗状況を数字で出せないものもあり、その場合は、この状態からこういう状態に変化したといった形で差分を文章で示す対応もあると思うが、できれば数値で示してほしい。

○**藤江会長** 今後私達が進捗管理を行っていく際に、指標の設定は重要な部分になるので、事務局は担当課と調整してください。

○**高橋委員** トップチーム等連携事業を例に挙げると、企業が運営しているトップチームは、母体であるその企業の意向や経営の影響等により移転や撤退といった可能性がある。このように、市でコントロールしにくいことが含まれるアウトプット指標について、外部要因の変化による計画値の変更は許容するのかを知りたい。

○**事務局** アウトプット指標の確定後、そういった状況の変化があった場合は、必ず担当課から本協議会にフィードバックされますので、その際には指標の計画値の変更も含めてご議論していただく流れを想定しています。

○**藤江会長** 初めから細かいデータも取っておくと、外部要因の影響による変化を一部取り除いて分析できるかもしれないので、なるべく最初のうちに多くの情報を把握しておくのも一つの考え方だと思います。

○**伊浪委員** アウトプット指標の項目を変更することは可能か。

○**事務局** 変更は可能ですが、担当課において数値を把握することが難しい場合もあるかと思いますので、その際には調整させていただきます。事務事業名とその内容は確定しているため変更できませんが、アウトプット指標に関する項目に関しては、事務事業を測る項目として適切か、この数値で評価できるか、といった視点で確認していただければと思います。

○**榎本委員** コミュニティ圏域内地域交流促進事業のアウトプット項目について、基準値は134件となっているが、具体的にどういうものかを確認したい。

○**藤江会長** 他の事業でも同じだと思いますが、基準値や現状に関する詳細資料を提供してもらえるか、という質問かと思います。

○**事務局** 数字ですぐにイメージができるものとできないものがあるかと思いますので、詳細資料について担当課と調整します。

○**藤江会長** 基準値の数値は、大きいものと小さいものがあり、あまり細かすぎても逆にわかりづらくなるかもしれませんが、ある程度は詳細な資料があった方がいいと思います。

○**榎本委員** 紙資料だと膨大になるのであれば、データの掲載先を教えてください。もらえればいいと思う。

○**山口委員** 教育相談・教育支援事業のアウトプット指標について、就学相談、教育相談に対応する職員数が基準値、計画値ともに20人で設定されているが、不登校支援の対策は、相談員の数では測れないと思う。また、事務事業内容に記載があるICTを活用した学習支援は、オンライン授業を実際に実施していくという考えなのか。さらに、不登校特別校の設置を進めるとあるが、具体的にどのように進めるのか。例えば、まずは各学校に小さくても教室を設置する、スクールカウンセラーの部屋を活用する、あるいは人材を確保していくなど、評価に当たってまずは具体的な内容を把握したい。

○**藤江会長** アウトプット指標の項目は変更できるので、私たちの判断材料になるような情報を提供・共有してもらいたいと思います。

○**中島副会長** 指標の項目名について、例えば1ページの1番目に「住民接種実施計画の見直し及び机上訓練等の実施回数」とあり、「及び」となっているので計画の見直しの回数と訓練の実施回数を合計で書くと思うが、防災意識啓発事業のように項目を分けて書いた方がそれぞれの回数も把握できるので分かりやすいと思う。

○**事務局** 項目を分けた方が分かりやすいと思いますので、担当課と調整します。

○**中島副会長** 委員の皆さんが指標の内容を確認いただく際の視点の参考になればと思い、気が付いた点をいくつか発言させていただく。

まず、文化センターの老朽化対策事業について、事務事業内容の最後に「機能等について協議します」とあるが、指標の項目は老朽化対策事業に着手した文化センターの数となっているので、事業内容と指標項目に齟齬があると思う。例えば、協議であれば協議回数、あるいは協議回数とそれに連動して老朽化対策事業に着手した文化センター数の二つに分けるなどが考えられる。

次に、観光振興事業について、指標の項目としてフィルムコミッション事業撮影実施件数とコンテンツ作成数があるが、この場合も事業内容に、「～に対する支援を行うほか、フィルムコミッション事業や～」と記載があり、恐らく「コンテンツ作成数」が「支援を行う」に関係するので、細かい点だが、並び順を逆にした方がいいと思う。また、その場合、

「コンテンツ造成数に支援による」などの言葉を追加した方が分かりやすい。

併せて、その下の事業に関しても、事業内容に「観光情報の発信・情報収集に努めるとともに、外国人観光客の受け入れや環境の整備を図ります」とあるが、前者の情報発信と、後者の外国人観光客の受入環境の整備が、それぞれ指標項目の観光情報センタースタッフと郷土の森観光情報センタースタッフのどちらを表しているのかが分かりづらい。どちらも前者の情報発信に係る指標に見受けられるので、事業内容と指標項目の整合性の確認が必要だと思う。

次の府中の森芸術劇場管理運営事業についても同様に、指標項目がホールの延べ利用単位と大規模改修等の施設整備計画の進捗率の二つに分かれているが、事業内容を見ると、「施設の適正な維持管理・運営に努め、施設の老朽化等に伴う改修を計画的に実施します」とあるので、後者の整備計画の進捗率だけでいいのではないか。もしくは、この施設整備計画に、ホールの改修によって利用率を上げることが書かれているのであれば、評価指標を2つに分けるなど工夫した方がいい。

このように、事業内容と指標の整合性を確認し、本当に一つの指標項目でいいのか、二つに分かれる場合は、それぞれ事業内容と紐づいているのか、といった視点で確認してほしい。

○**藤江会長** 総合計画の中でも複数の指標が設定されている施策があるほか、外国だと一つの事業に5つか6つくらいの指標が設定されるものもあります。私達の作業では、総合計画に載っている指標をベースの一つにする考えと、複数の指標を設定する考えがありますが、いかがでしょうか。

○**事務局** 防災意識啓発事業のように二つの指標が設定されている事業もあれば、事業内容が複数項目あるように見えても、その中の大項目を取って一つだけ設定している事業も現状ではあります。この事務事業であれば一つのアウットプットで問題ないが、この事務事業は二つあった方がいい、といったご意見があればお示しいただければと思いますが、指標の数が多すぎない方が評価は行いやすいかと思います。

○**中島副会長** 必要であれば複数の指標を設定してもいいと思うが、重要なことは、事業内容と指標の整合性が取れているかという点になるので、そこを確認してほしい。

○**高橋委員** 資料2 - 2のタイトルは事務事業一覧となっているが、一覧の意味は、例示としてたまたまこの一つだけ主要な取組から抜粋したものなのか、もしくは資料2 - 2に載っているものは全て網羅している

のだろうか。例えば、総合計画の１５７ページには主要な取組として、府中の森芸術劇場管理運営事業のほか郷土の森博物館管理運営事業や美術館維持管理事業も書かれているが、これらは資料２－２には載っていない。

○**事務局** 回答に先立ちまして、総合計画上では「主要な取組」という文章表現を使っていますが、行政評価上では「事務事業」という文章表現になっていますので、これらは同じものであることをお伝えします。

回答になりますが、資料２－２は全て網羅したものになりますので、記載されている事務事業で重点プロジェクトは構成されているものと捉えていただければと思います。

○**高橋委員** 理解した。重点プロジェクトを構成する事務事業の妥当性はすでにどこかで評価されているとの認識でいいか。

○**事務局** お見込みのとおりです。各プロジェクトに掲げている「対応する主要な取組」は、総合計画の各施策に掲げる「主要な取組」と同じものとなりますので、施策体系とは別に分野横断的な視点から重点的かつ優先的に実施すべき取組を集めたものが重点プロジェクトであり、その構成や内容については、総合計画を策定する審議会の中で議論され、決定されていったものとご理解いただければと思います。

○**藤江会長** 第７次総合計画の計画期間は８年で、４年ずつ前期後期に分かれます。私達は前期の重点プロジェクトの進捗について評価を行いますが、計画期間の中間頃に見直しの作業が始まり、その際、重点プロジェクトの入れ替えに関する議論が出てくるかもしれないので、そのためにも本協議会の評価作業は意味のあるものだと思います。

○**藤江会長** ここまで、多くの意見を出していただきましたが、それ以外に意見等があるか、プロジェクトごとに確認したいと思います。

まず「プロジェクト１ 地域でつながり安心して暮らせるまちづくり」の部分で意見や質問はありますか。

（挙手及び発言なし）

○**藤江会長** 次に「プロジェクト２ 未来を担うひとを育むまちづくり」の部分で意見や質問はありますか。

（挙手及び発言なし）

○藤江会長 次に「プロジェクト3 活気に満ちた交流が盛んなまちづくり」の部分で意見や質問はありますか。

(挙手及び発言なし)

○藤江会長 追加のご意見等がある場合は、後日事務局に提出していただき、次回の会議で議論・決定していきたいと思います。

また、次回以降の会議では、この指標を含めた評価票のフォーマットの作成をはじめとして、協議会の審議方法を固め、来年の作業につなげていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

最後に全体を通して何か確認したい点や意見などはありませんか。

○榎本委員 私は総合計画を策定する審議会にも参画していたが、その時には発言できなかったこと、思いがあるため、ここで話をさせてもらいたい。

私は「これこそ協働である」と実感できるような音楽イベントに携わっており、総合計画の文化・芸術に関する施策の内容にそういったことを盛り込みたかったが、これはかなわなかった。

本日の重点プロジェクトの資料に中心市街地の活性化に係る取組について記載があり、指標としてけやき並木におけるイベントの件数が載っているが、担当課が産業振興課となっているため、私が携わっている音楽イベントが件数としてカウントされているのかが気になった。このため、カウントしているイベントの内訳が把握できれば、市民活動をしている私たちの目線で「こういった取組もある」という抜け漏れを防ぐことができるのではないかと。

私は府中市に30年くらい住んでおり、子育てや介護予防、音楽などに関する市民活動に携わるようになって10年ほどになる。その経験の中で、府中市では100年住んでいても新参者と言われるくらい昔から住んでいる人たちが多く、かつ、その人たちの発言力や影響力が非常に大きくて、新しいアイデアを出しても受け入れてもらえないことがあると感じている。

昔から住んでいる人もそうでない人も、みんなが仲良く一緒に暮らせるまち、暮らしやすいまちづくりのために、私はこれから意見を出していきたいと思っている。

○藤江会長 担当課ごとに資料を出しているので、抜けている部分がないか、市民活動や協働の視点から正確な把握が必要だと思いますし、予算に反映させるサイクルの作業においても、漏れがあると次の取組へとつなげていけないことになるので、今の発言は本当に大事な話であったと思います。

府中市の伝統的なスタイルから協働共創のスタイルへと変えていくために、時間をかけて少しずつでもいいので発信していく必要があると思いますし、本協議会における議論を発信の場としても使っていければと思います。

○**藤江会長** 次に、次第４の「その他」として、委員の皆さんから何かありますか。

○**伊浪委員** 第１回会議を欠席したので、府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の「まち」と「ひと」は本日の資料を読み込んで理解できた一方で、「しごと」についてはまちの活気から経済効果につながるころは分かるが、雇用の部分がどの辺に入るかが分からないので確認したい。

○**事務局** まち・ひと・しごと創生総合戦略は、東京圏への過度な人口集中の是正等を主な目的としたものになりますが、国からは東京都内の自治体にも策定することを求められましたので、本市でも平成２７年度に第１期総合戦略を策定しました。

第１期の策定時には、国が作成した手引きに沿って型どおりに作っていましたが、第２期を策定するタイミングでは、ある程度地域の事情に合わせて作って構わないと国の手引きに明記されたことも受け、府中市では、「まち・ひと・しごと」という言葉に強く縛られることなく、総合計画の中で分野横断的に重点的に取り組むものである重点プロジェクトを総合戦略として位置付けることとしました。

このため、第１期総合戦略には雇用の内容が入っていますが、第２期総合戦略では直接的には雇用に関する記載はないものとご理解いただければと思います。

○**藤江会長** 総合計画では明示的に雇用に関する項目は立てていませんが、都市基盤・産業の分野で産業の振興について書かれていますので、それが雇用にもつながっていく部分があるかと思います。

他に意見や質問はないようですが、事務局からは何かありますか。

○**事務局** 事務局から２点連絡します。

次回開催日について（１月２６日（木）午前１０時から、北庁舎３階第６会議室）

資料２－２に関する追加意見について（１月１０日（火）までに事務局に提出）

○**藤江会長** それでは、次回は１月２６日（木）午前１０時から開催することとし、本日はこれで散会とします。

以上